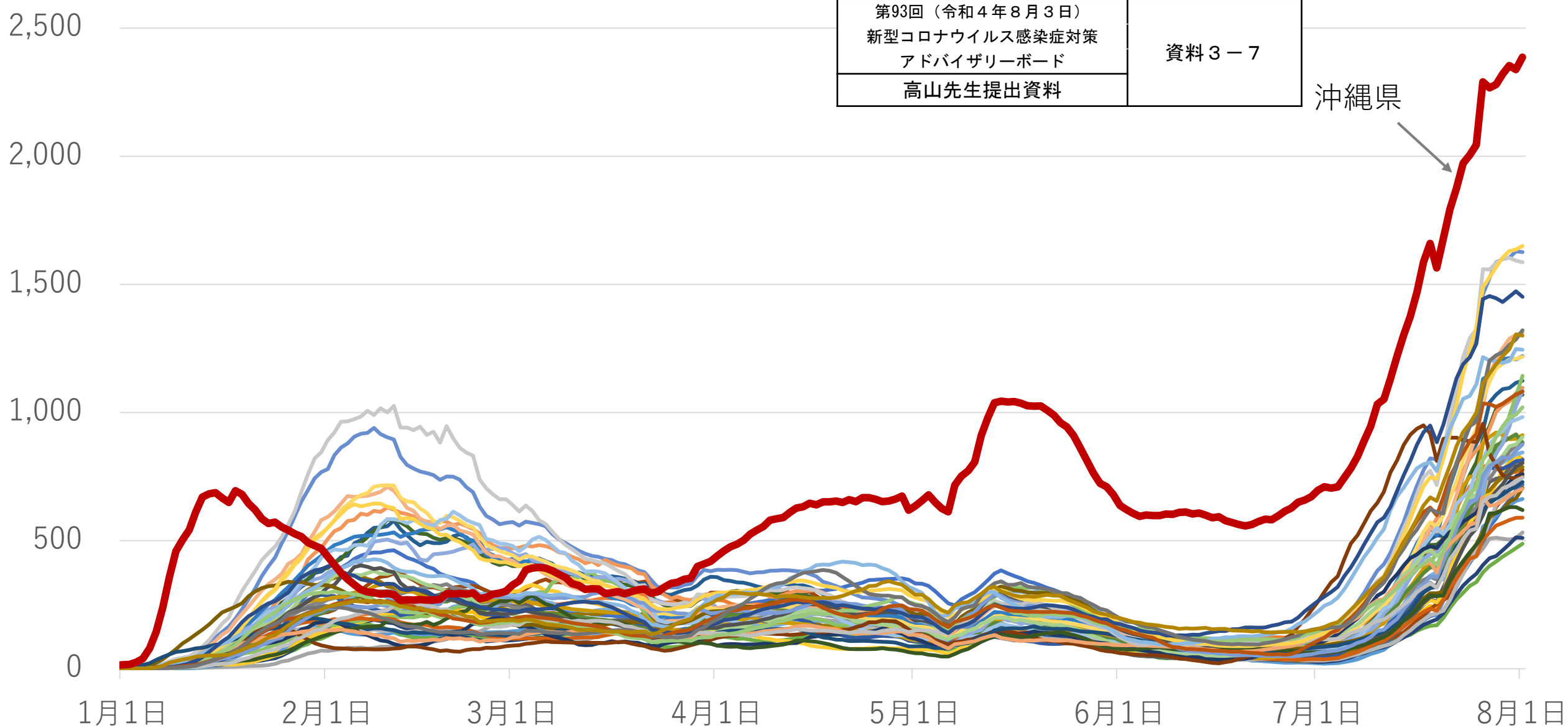
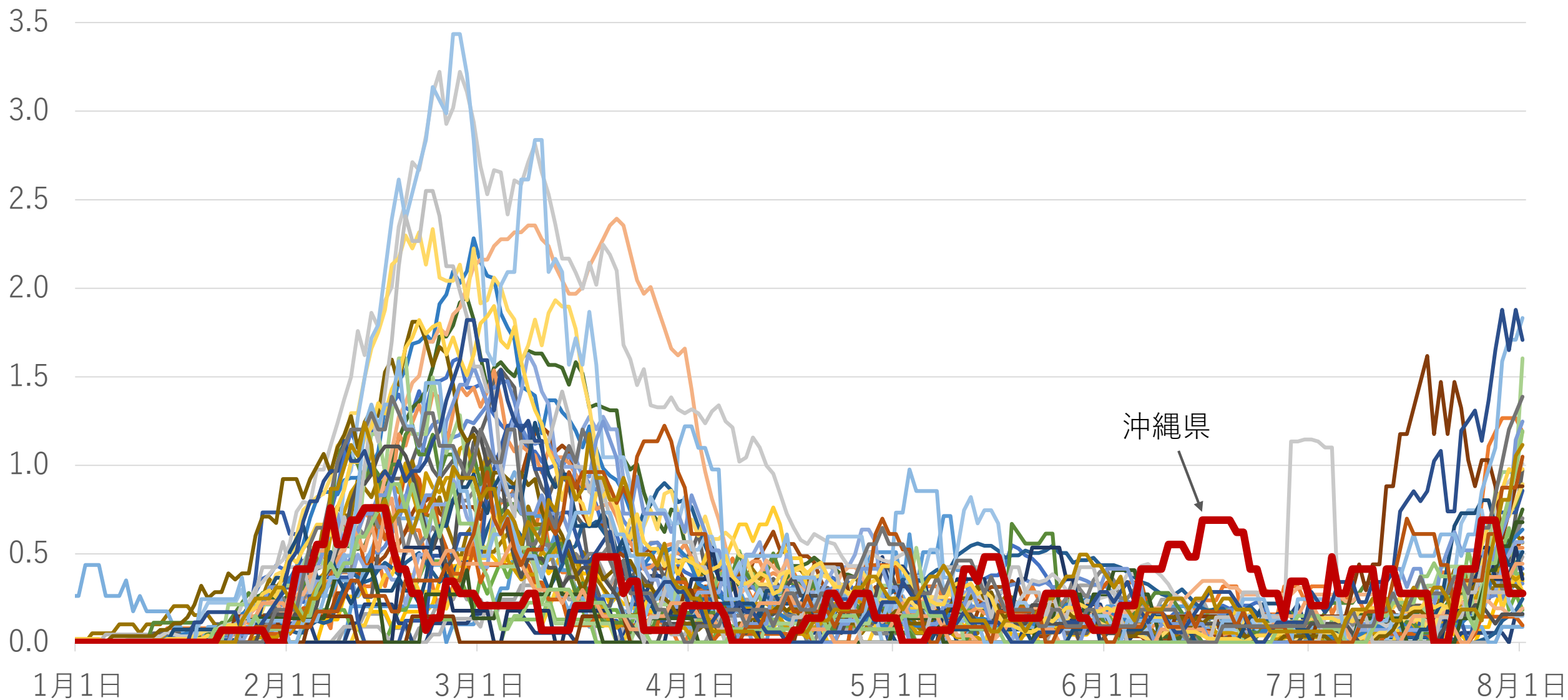


図1 都道府県別にみる新規陽性者数の推移 (人口10万人あたり7日間合計)



出典：NHK特設サイト「新型コロナウイルス」掲載の都道府県ごとの陽性者数をもとに作図¹

図2 都道府県別にみる死亡者数の推移 (人口10万人あたり7日間合計)



出典：NHK特設サイト「新型コロナウイルス」掲載の都道府県ごとの陽性者数をもとに作図²

図3 保健所管区別に見る新規陽性者数の推移（沖縄県）

人口10万人あたり7日間合計

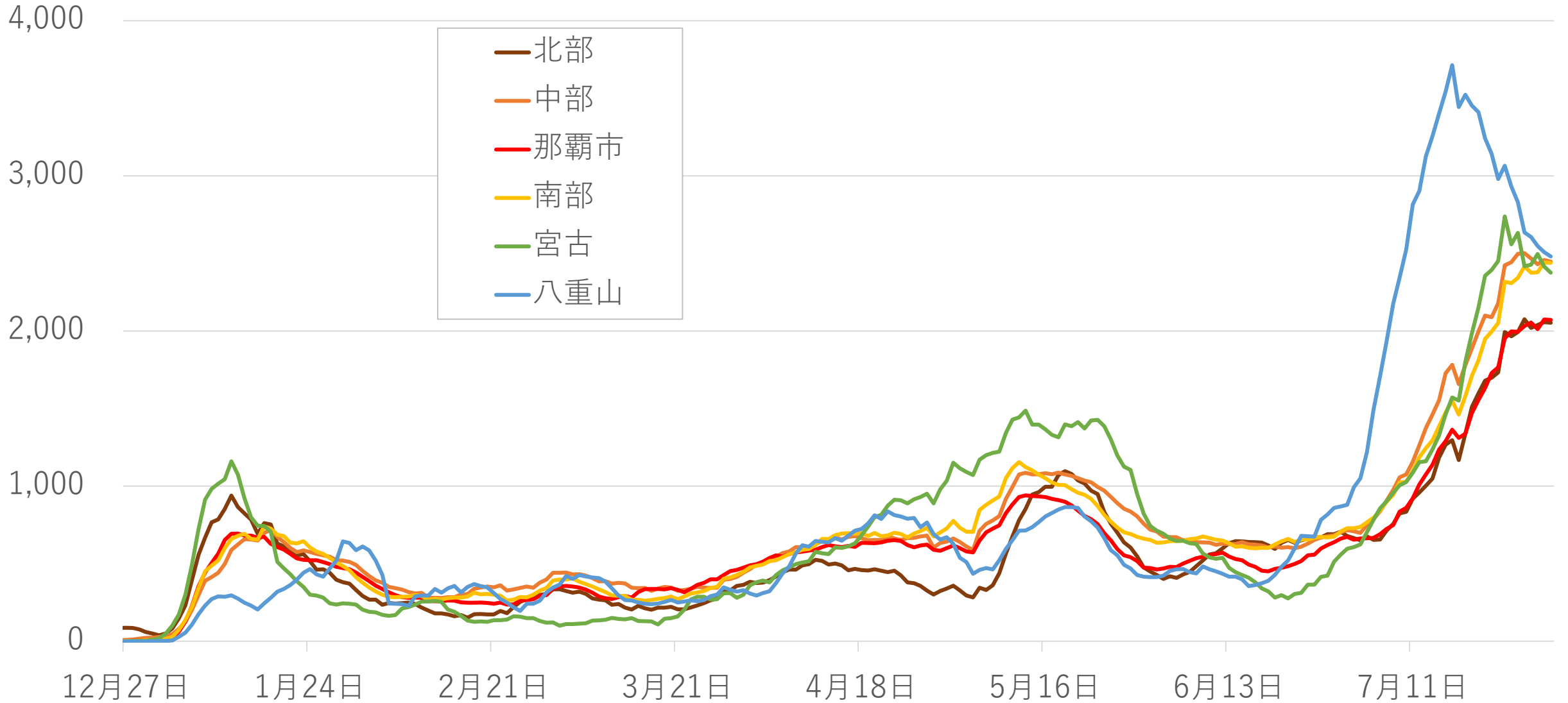


図4 性年齢階級別に見る陽性者数 (7月25日~31日)

n = 33,767 (不明・確認中の219人を除く)

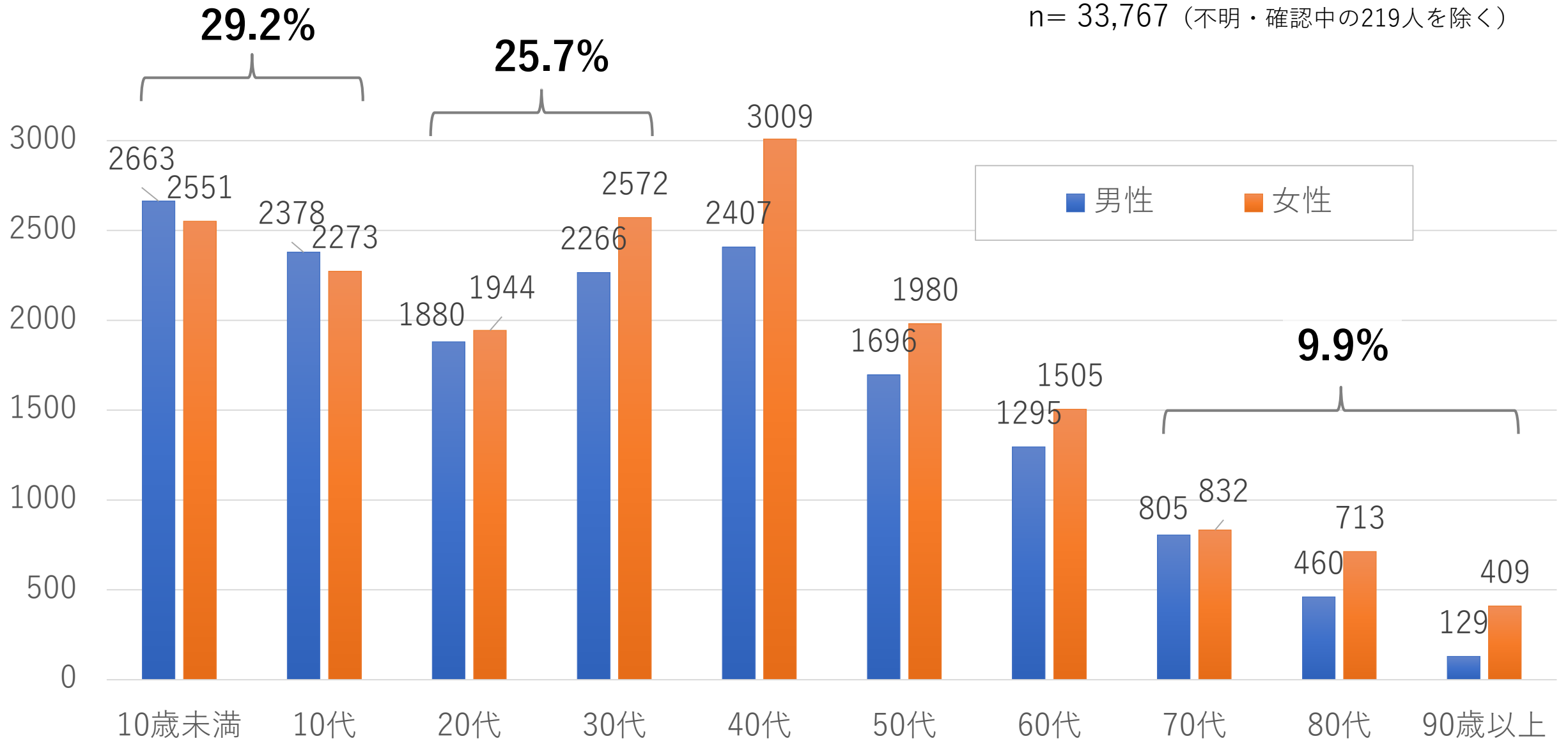


図5 年齢階級別にみる新規陽性者数の推移 (人口10万人あたり7日間合計)

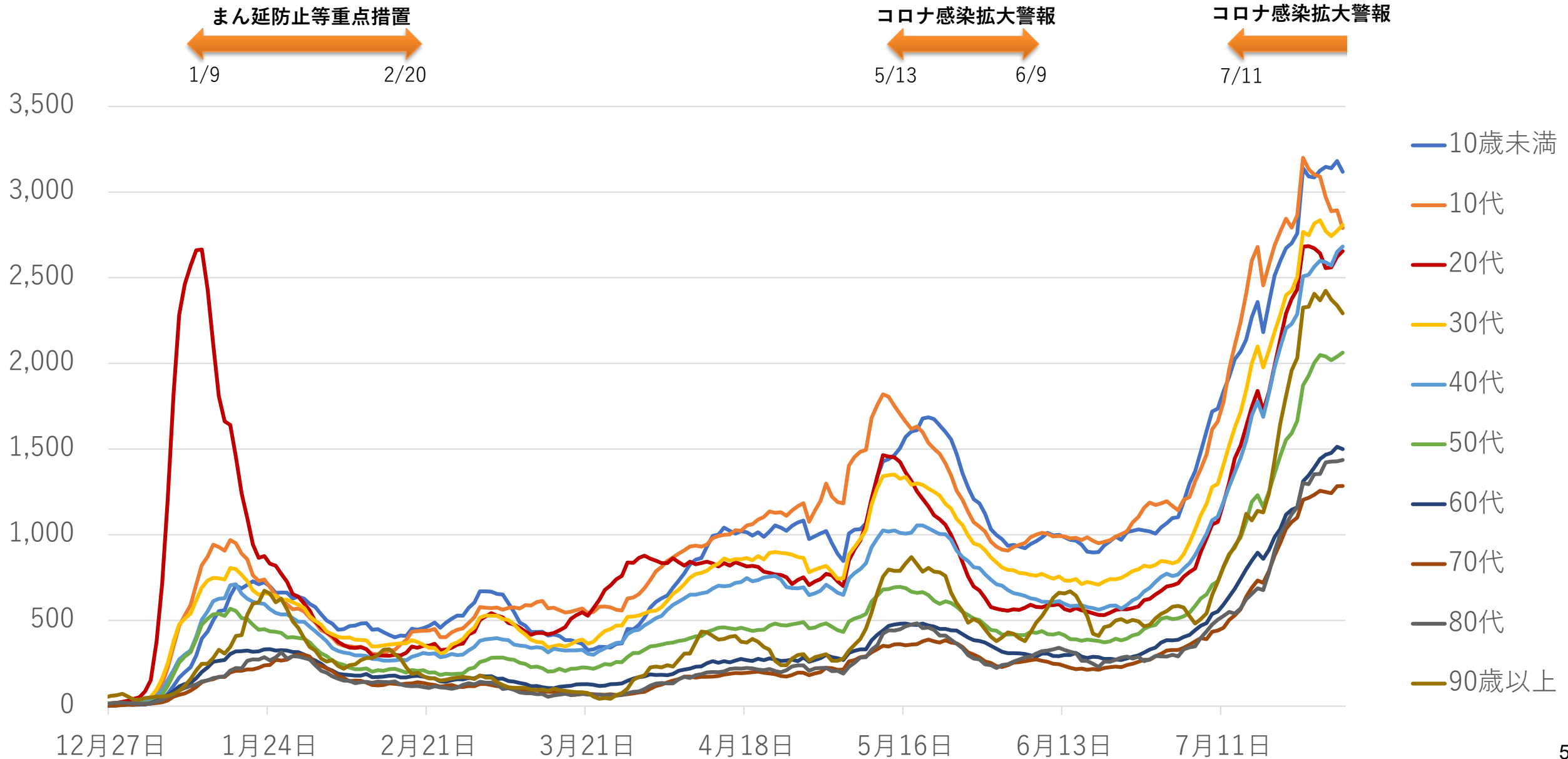


図6 県外からの渡航者における新規陽性者数の推移（沖縄県）



図7 沖縄県における救急搬送件数の推移

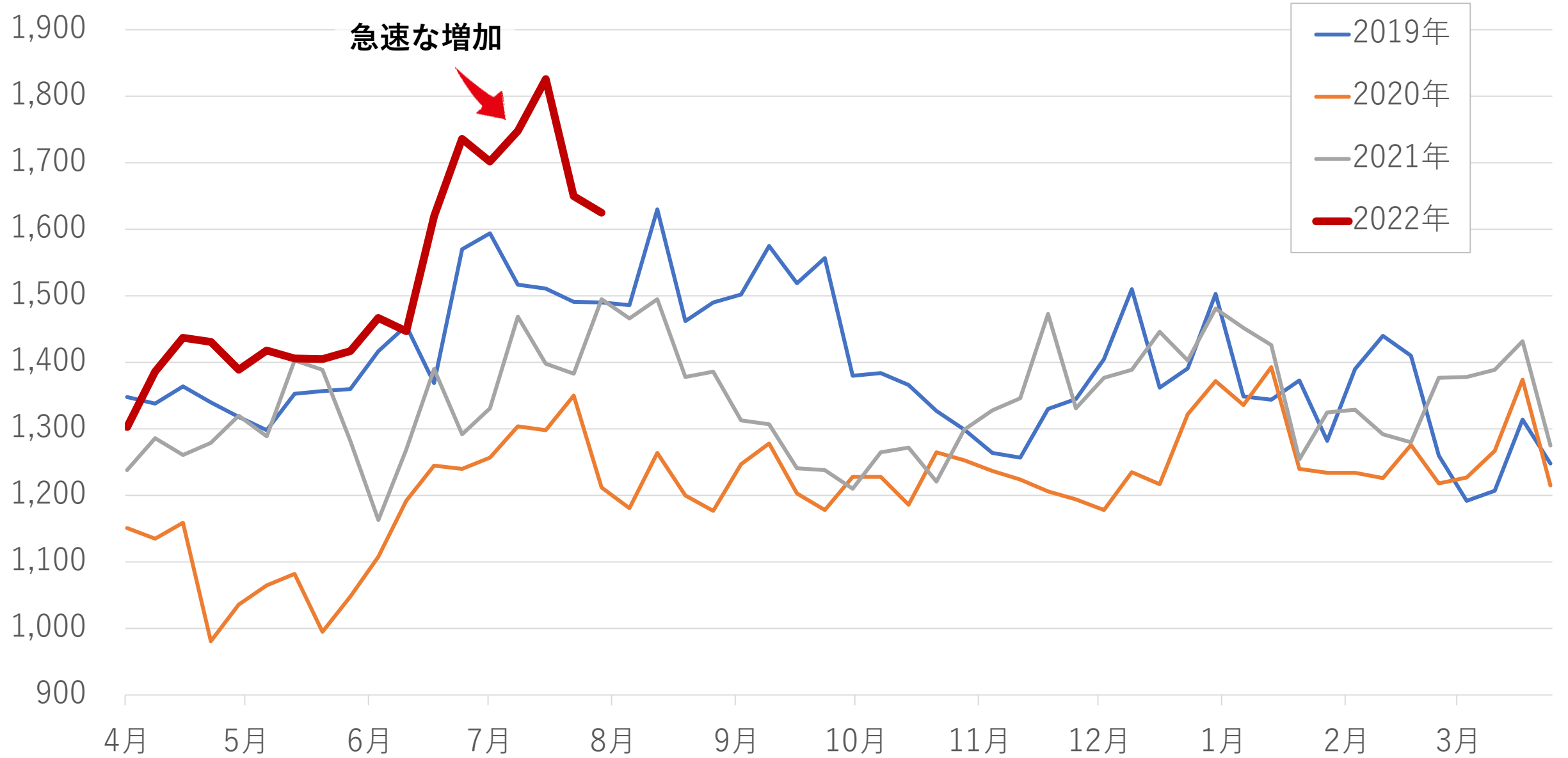


図8 搬送困難件数の推移（沖縄県）

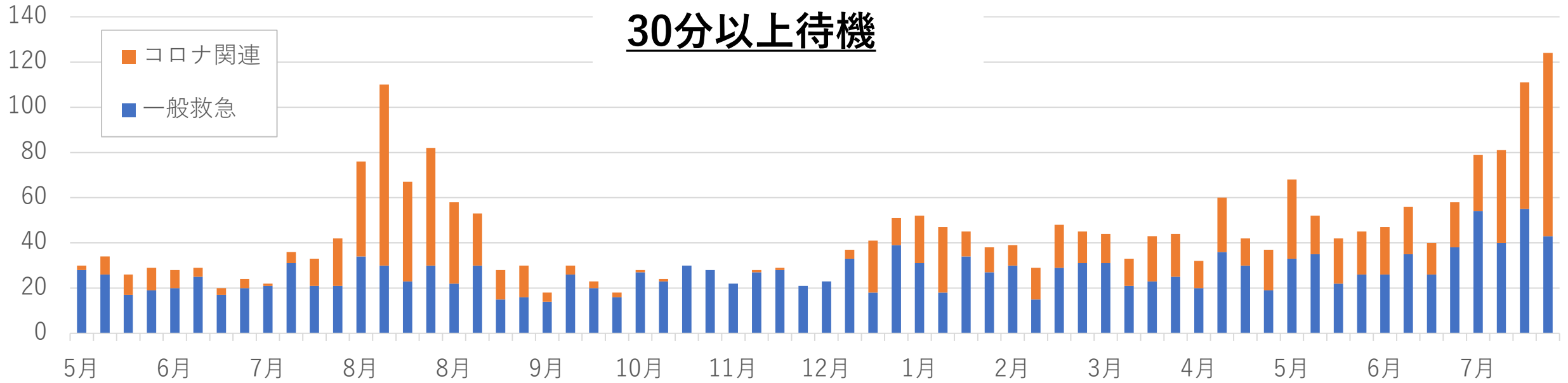


図9 新規陽性者数と重症度別入院患者数の推移（沖縄県）

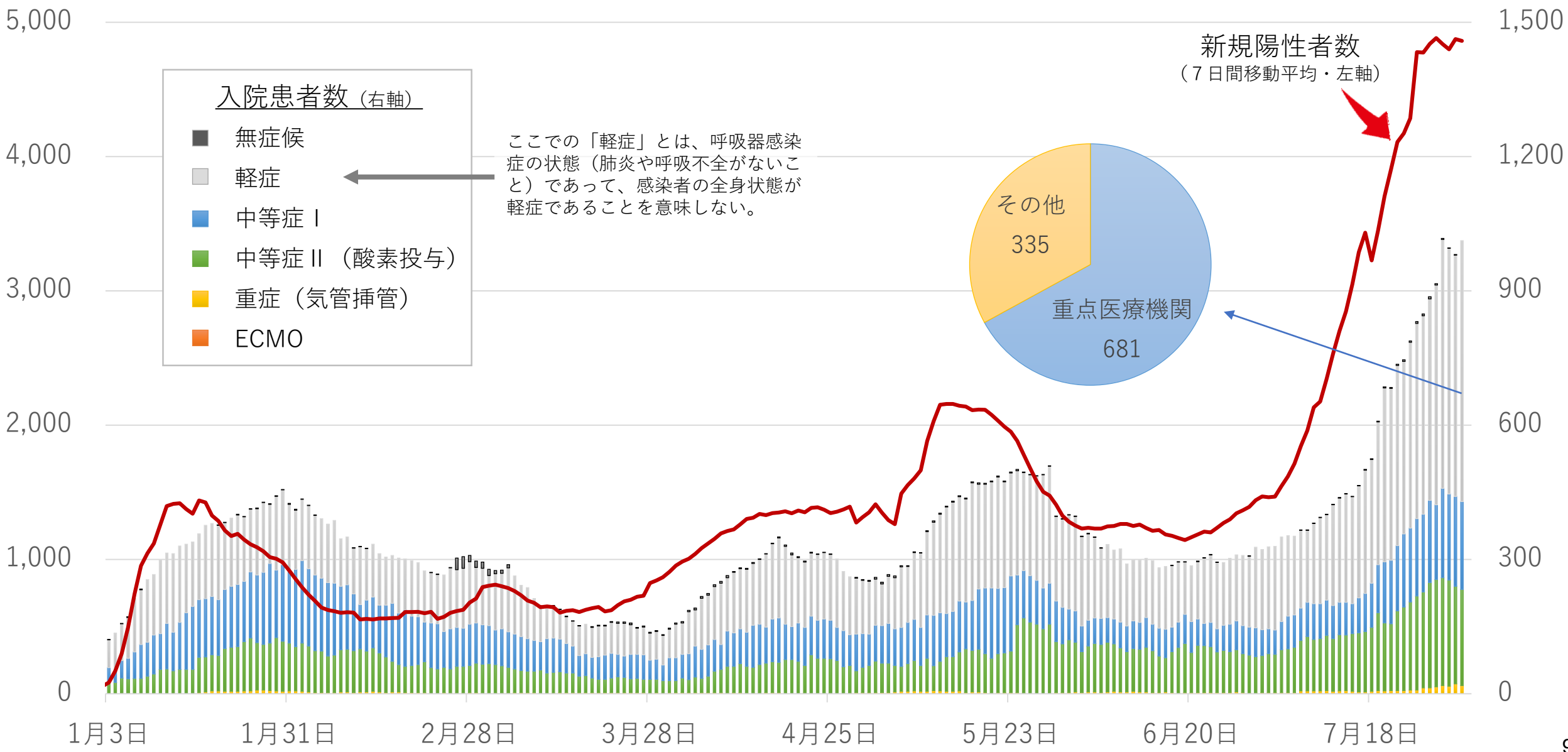
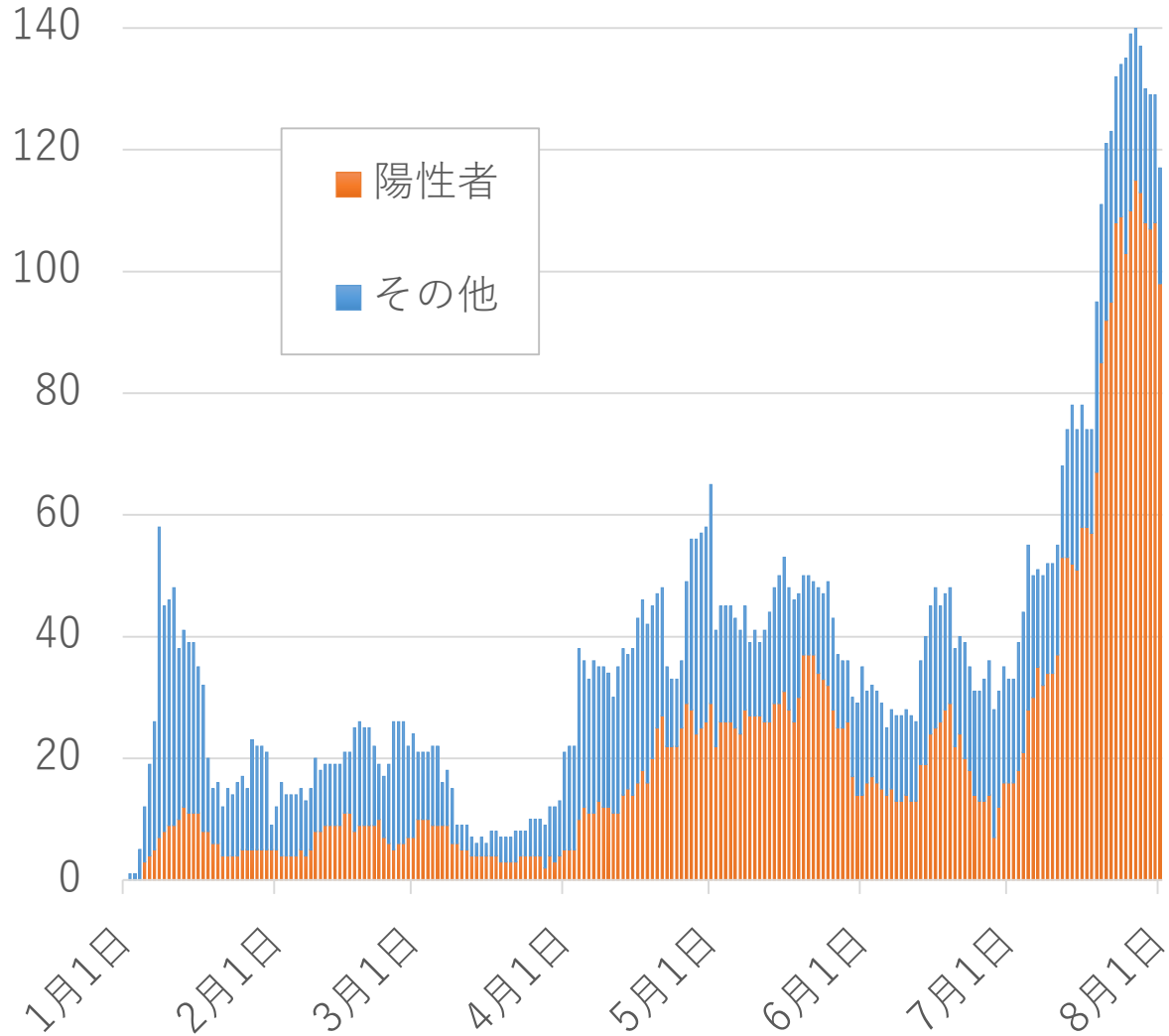


図10 重点医療機関（21病院）における医師、看護師の休職数

医師



看護師

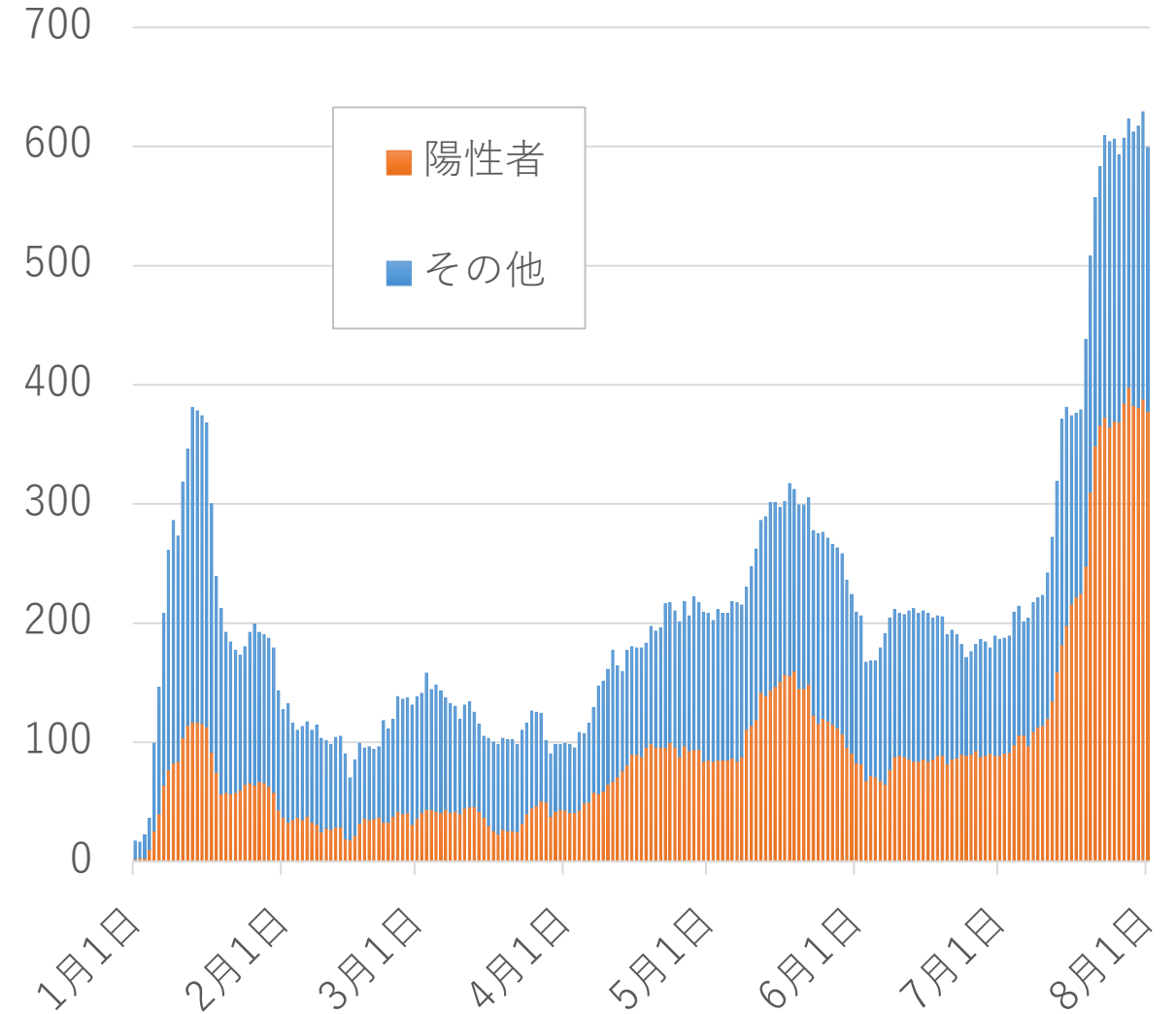


図11 沖縄県における病床ひっ迫の要因と軽減策

病床ひっ迫の要因

- コロナ感染拡大による入院数の増加
- 社会活性化による救急患者数の増加
- 医療従事者の休職数の増加
- 院内感染の多発による病棟閉鎖



病床ひっ迫の軽減策

- 入院待機ステーションの拡充
- 重点医療機関以外における入院継続
- 社会福祉施設における療養支援
- 在宅医療（訪問看護、訪問診療）

図12 社会福祉施設における施設内療養者数

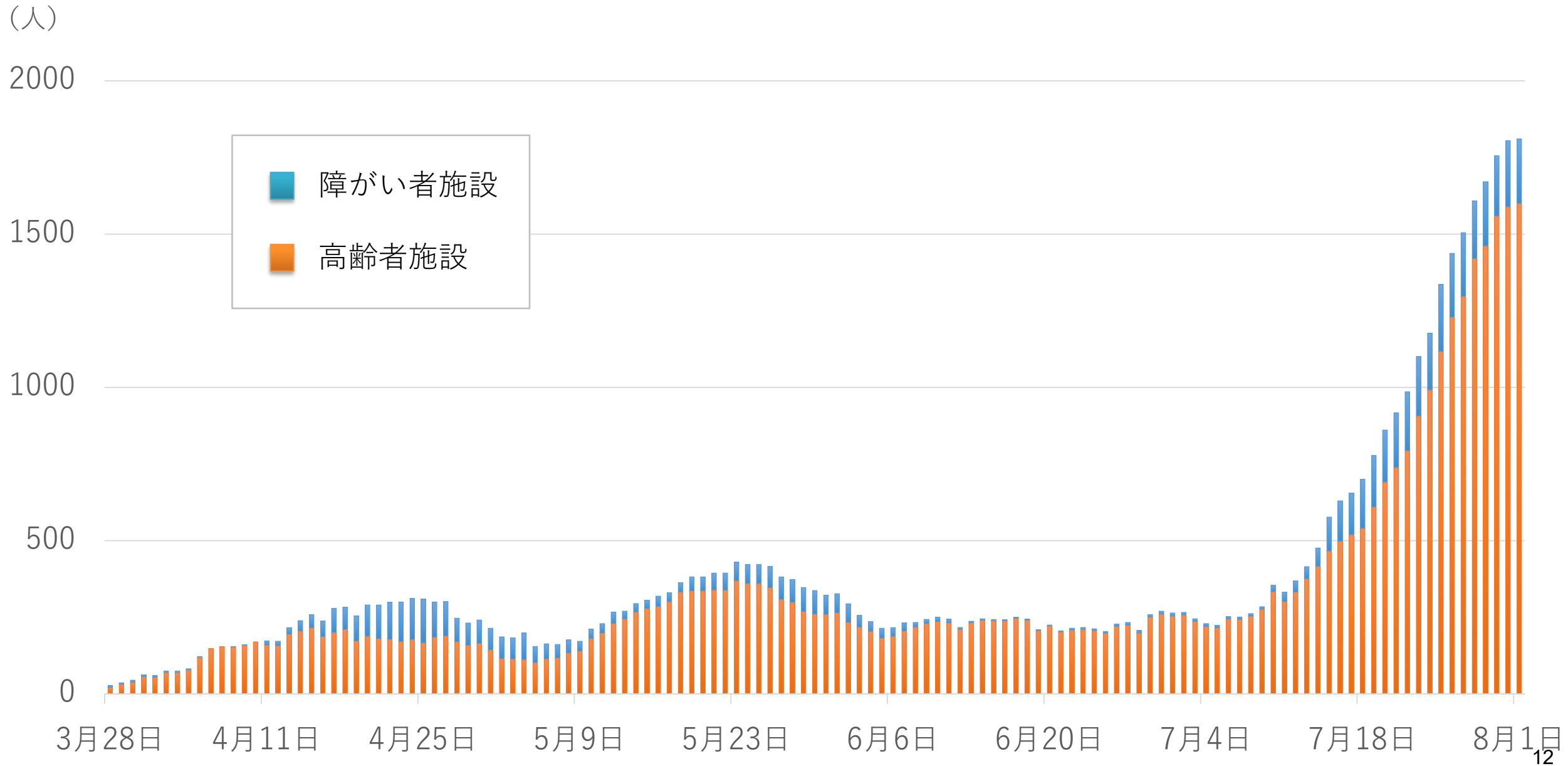


図13 病院外において酸素投与が行われている療養者数

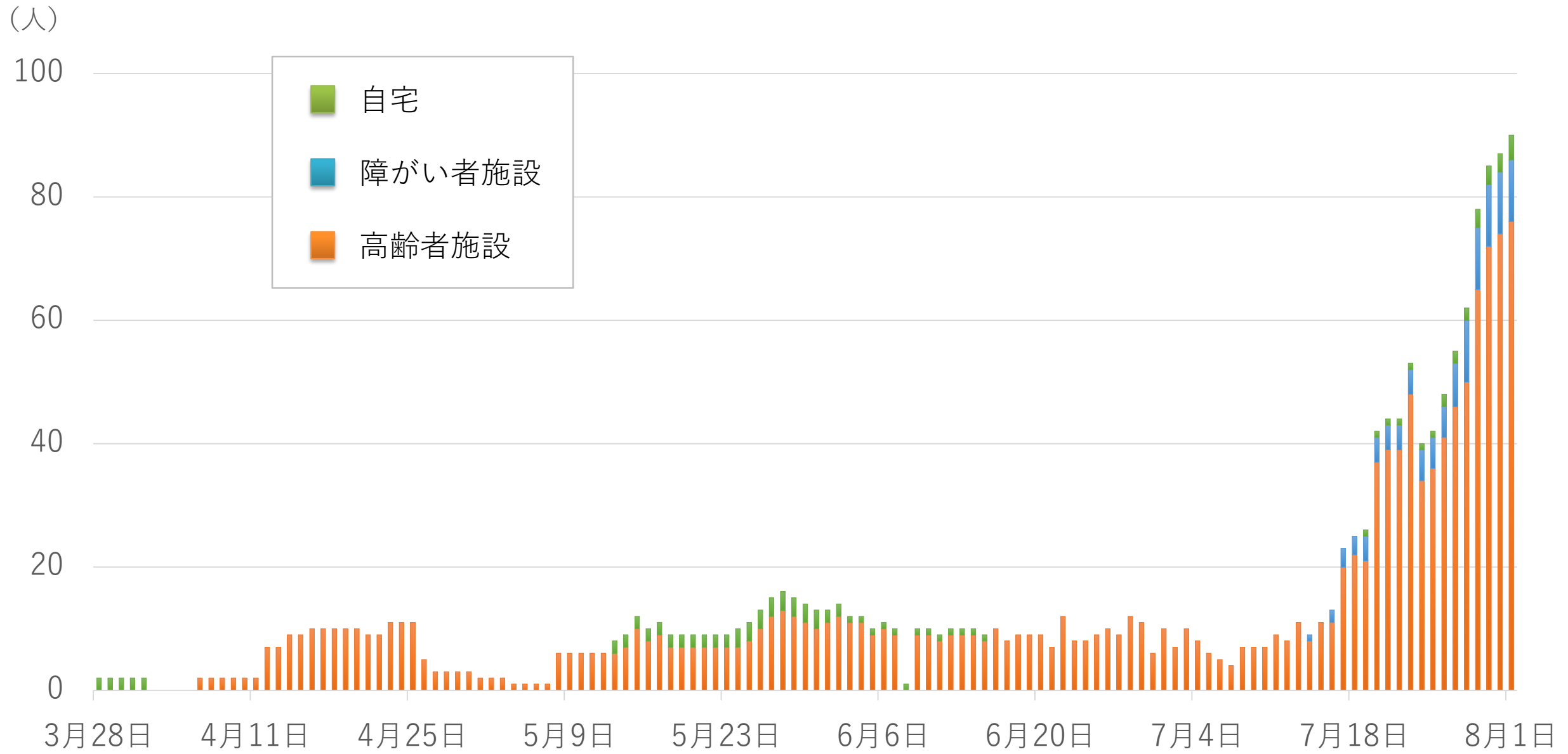
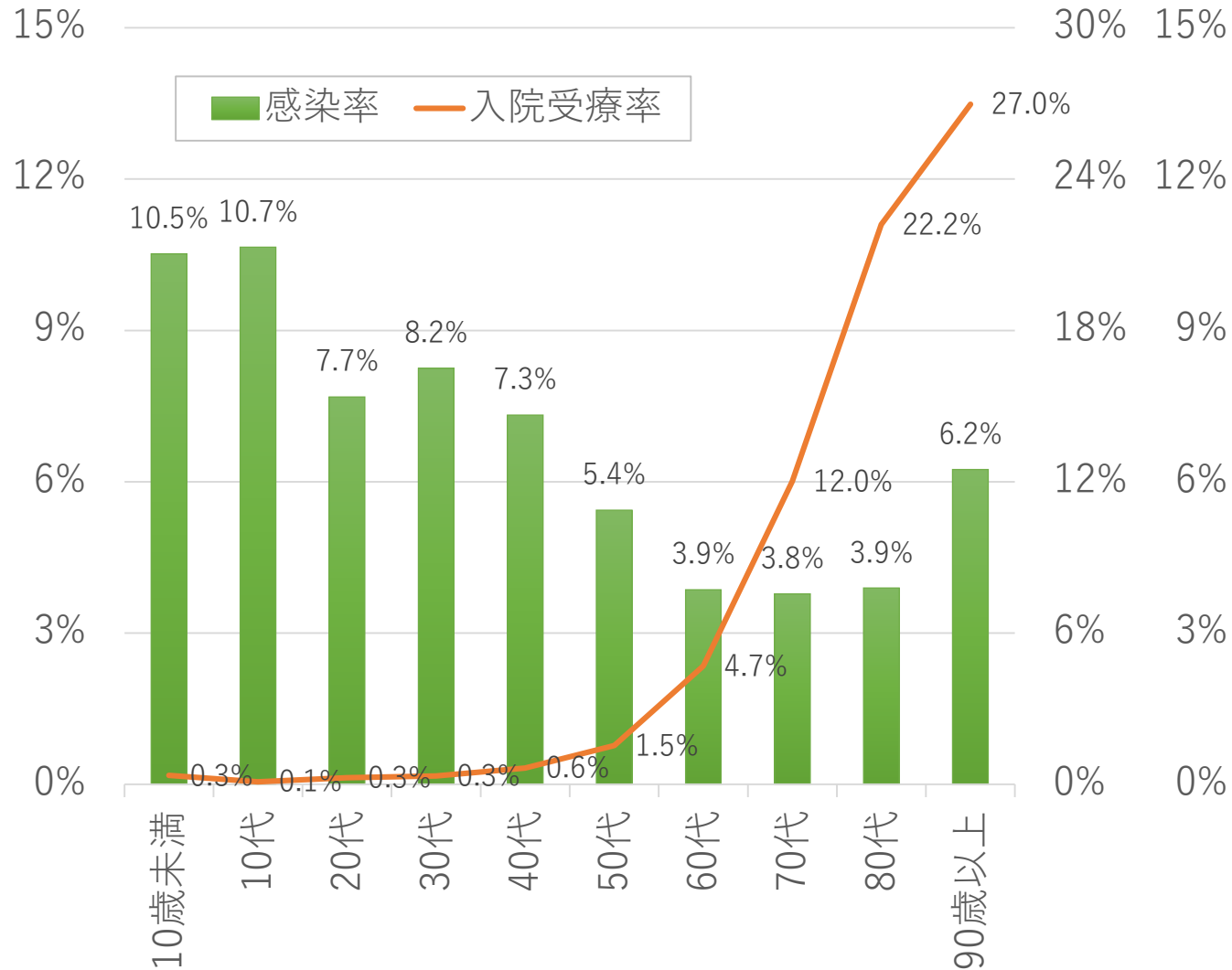


図14 性年齢階級別に見る感染率と入院受療率

2022年7月1日～31日

男性



女性

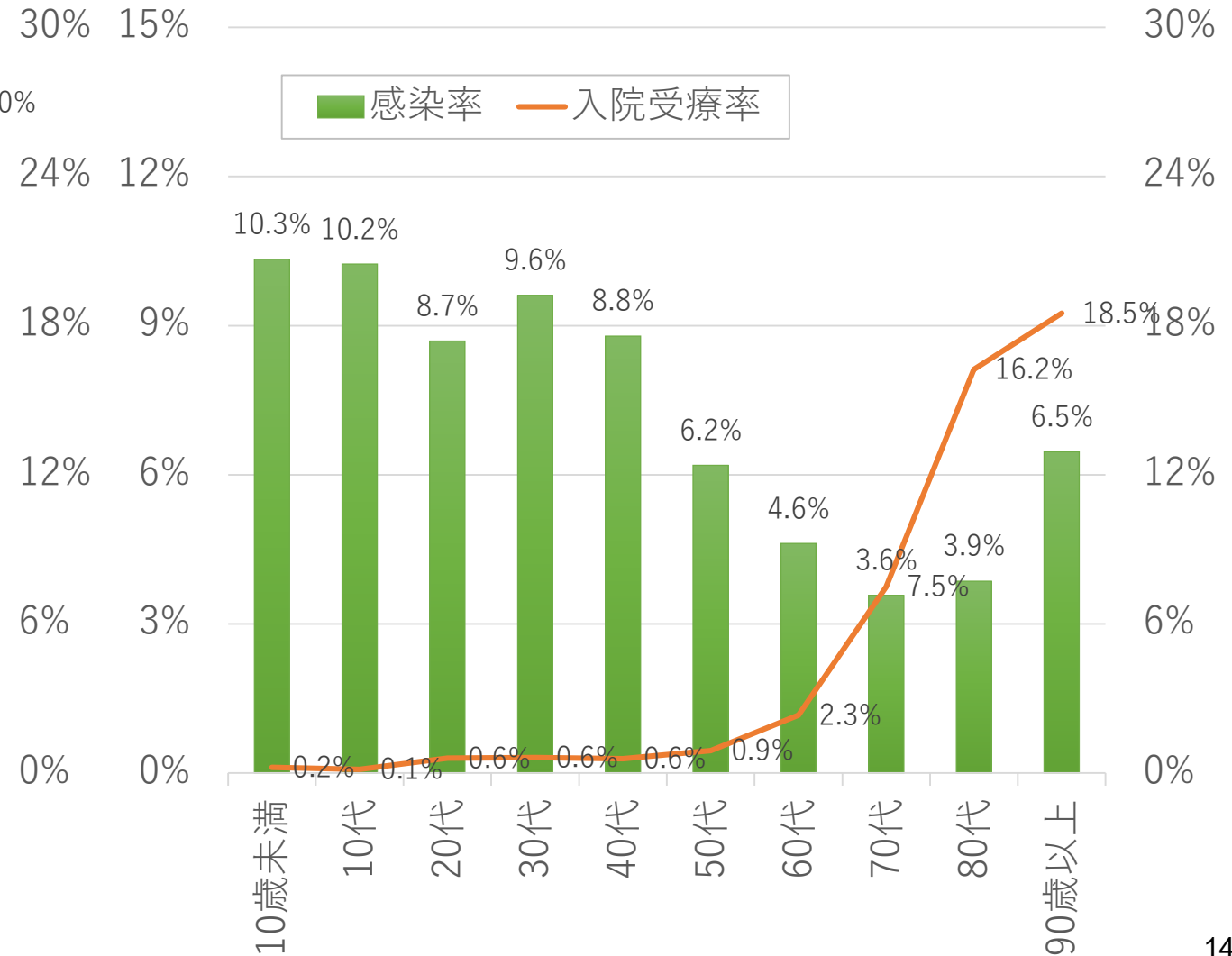


図15 高齢者施設における療養者と目指すべき医療支援体制

| | ① 入院すべき患者 ※ | ② 訪問診療／看護で支える患者 | ③ 介護者の見守りでよい患者 |
|---------------|--|---|---|
| 患者の状態 | <ul style="list-style-type: none"> ● 呼吸状態が悪化しており、新たに酸素投与が行われている。 ● 喀痰量が増加しており、新たに吸痰が必要になっている。 ● 誤嚥性肺炎や心不全など、合併症治療が必要になっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 緊急性はないが、状態不安定であり、悪化のリスクがある。 ● 経口摂取が不十分で、点滴による補液が必要である。 ● 入院させない方針だが、看取りも含めた見通しがある。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 軽症であり、解熱剤や鎮咳薬などの症状を緩和する薬剤のみで安定している。 |
| 求められる医療支援体制 | <p>やむを得ず、施設での療養を継続する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 介護側に状態観察を任せることなく、<u>毎日の巡回診療や訪問看護による医療支援が必要</u>である。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 医師に電話で相談でき、<u>必要時には往診が受けられる</u>。または、搬送することができる。 ● <u>施設看護師による専門的なケアが受けられる</u>。または、<u>訪問看護が受けられる</u>。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 必要な場合に、<u>かかりつけ医等に電話で相談できる</u>。隔離期間に<u>定期薬が不足した場合</u>には、<u>追加処方</u>が受けられる。 ● 解熱剤や鎮咳薬などの<u>基本的薬剤</u>について、<u>遠隔処方</u>が受けられる。 |
| 療養者に占める割合（推定） | 20% | 30% | 50% |

※ 施設内における集団感染を防ぐ観点から、個室隔離が困難な場合などでは入院対応も考慮する。

図16 沖縄県における前週比（7日間移動平均）の推移

